

特別活動 授業デザイン

日	時：平成 25 年 2 月 15 日（金）第 4 校時（11 時 40 分～12 時 30 分）
学	年：本校 中学部 3 年
授 業 場 所	：中学部 3 年教室

1. 単元（題材）名

「社会に向けて正しい情報発信とコミュニケーション」

2. 単元（題材）の目標

コンテンツを活用して、ネットワーク上でのエチケットの基礎知識を学習し、著作権やネットワークでのマナーを守る態度を養う。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 2 時間 本時 第 2 時）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	責任ある情報発信の仕方を学ぶ。情報を発信する際に守ることを学ぶ。	IWB, 教材提示装置
第 2 時 本 時	掲示板やソーシャルネットワークでの正しいコミュニケーションの仕方を学ぶ。	IWB, 教材提示装置

4. 本時の目標

- (1) 責任ある情報発信と相手を思いやる行動をとろうとする。
- (2) インターネット上における正しいコミュニケーションの仕方を理解する。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	導入・展開・まとめ
活用する者〔目的〕	・指導者〔課題提示・説明〕
活用するコンテンツ	自作コンテンツ 光京都学習ネット
活用する機器	IWB

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	1, 身近に起きたトラブルについて話し合う。 ・人にいやなことを言われたり、いやな行動を取られたりしたことがありますか。 ・電子掲示板やブログの正しい使い方について考えてみましょう。	IWB (指導者)	・日常生活の中で起こる友達とのトラブルに目を向ける。
展 開	2, 動画（ドラマ）を視聴し、啓太の気持ちについて考えてみる。 ・動画（ドラマ）視聴 ・啓太の気持ちを考える ☐一斉学習 Q裏サイトに自分のことが書かれていると知った啓太は、どんな気持ちだと思いますか。 ☐一斉学習 Q削除された掲示板や新しく書き込まれた内容を見たときの啓太は、どんな気持ちだとおもいますか。 Q掲示板に「書いていけない内容」と「書いてもよい内容」について考えましょう。	IWB (指導者)	・インターネット上にある電子掲示板について考えることを伝えてから、動画（ドラマ）の本編だけを視聴する。 ・掲示板は誰でも利用できることや裏サイトがあることを押さえる。 ・ワークシートに啓太の気持ちを記入させる。 ・啓太は、なぜ誰にも話せなかったのかについても話し合わせる。 ・心配する人には、家族、カナ、啓太の友達がいることを押さえる。 ・ワークシートに啓太の気持ちを記入させる。 ・心配してくれる人、支えてくれる人がいることで啓太は立ち直ることができたことを押さえる。 ・ワークシートに、掲示板に「書いていけない内容」と「書いてもよい内容」について記入させる。 ・掲示板は、内容によって読み手の役にも立つものもあれば、不快にさせたり傷つけたりするものもあることに気付かせる。
ま と め	3, まとめを聞く。 ・動画（ドラマの解説）を見る ☐一斉学習 Q掲示板を使うときには、どのようなことに気をつけたらいいのでしょうか。 ・教師のまとめを聞く ・本時のふり返りを書く	IWB (指導者)	・「ネット社会は匿名ではない」や「大人や友達に相談する」ことを動画（ドラマ）から押さえる。 ・情報社会やネット社会では、「相手の気持ち考える」「自分の発信に責任をもつ」「家族や友達と話し合う」ことの大切さを確認する。

7. 本時の評価

- (1) 責任ある情報発信と相手を思いやる行動を理解できたか。
- (2) 公共的な意識を高め、インターネット上における正しいコミュニケーションの仕方を理解したか。

8. 準備物

ワークシート, パワーポイント資料, 映像資料